

Euro Asia Summer School（サマースクール）の2週間を通じて得られたことは主に、

- ・世界中の優秀な学生たちと交流できたこと
- ・民主主義、人権、経済成長、等様々なテーマについて多角的に考えられたこと
- ・韓国やベルギーの文化を体験できたこと

でした。このような機会を得られたことに感謝いたします。

□日程・概要

2017年8月21日（月）～8月25日（金）@韓国

2017年8月27日（月）～9月1日（金）@ベルギー

今回の Euro Asia Summer School は、‘EU - East Asia Bilateral and Multilateral Cooperation in Global Governance’というテーマの下、第一週目の韓国では、ソウル大学、KDI School of Public Policy and Management（韓国開発研究院の大学院）において、第二週目のベルギーではルーヴェン・カトリック大学(KUL)において行われました。講義形式はリレー式で、参加校のソウル大学、KDIS、KUL、一橋大学の教授の方々によって東アジア、ヨーロッパ(主に EU)の政治経済、国際関係、地域統合などグローバル・ガバナンスに関わる諸問題についての授業が幅広く展開されました。授業の他、フィールドワークとして、全州・世宗（韓国）の見学や、第一次世界大戦中に戦地となったフランダース平原（ベルギー）の見学等が行われました。

□成果報告・感想

今回のサマースクールの成果としては特に、世界中の優秀な学生たちと交流できたこと、民主主義、人権、経済成長等様々なテーマについて多角的に考えられたこと、そして、韓国やベルギーの文化を体験できたことが挙げられます。

今回のサマースクールには、参加校の所在国である日韓・ベルギーのみならず、東南アジア、中南米、中東、欧州等各地から留学生が多数参加しました。彼らと授業内外の時間をともに過ごし、交流することで自分の視野が少なからず広がったのは大きな収穫でした。各国の文化の話等どれもとても興味深く、彼らと過ごす時間はとても有意義でした。特に印象的だったのは、彼らと食事をしながら、例えば人権や民主主義等は本当に「規範的 (normative)」な価値か？ということについて1時間以上も盛り上がったことです。自分とは全く異なる角度からの考え等を聞き、なぜそう考えるのか、について改めて考え、意見交換することで、自分の思考の枠から出て考える重要性を改めて実感しました。また、韓国やベルギーでは、参加していた現地の学生に美味しいお店や観光名所に連れて行ってもらったり、その土地の文化の話を教えていただいたり、旅行でいくより何倍も特別な体験をすることができたと思っています。

講義形式がリレー式だったため、様々なテーマについての授業を一度に受けることができ、自分の知らないテーマについて興味を持つきっかけとなりました。また（前述したこ

と同じようなことですが)、同じ事象について違う側面・観点から考える面白さ、重要さに改めて気付く良い機会となりました。例えばある授業で、民主化していく際にいかにその反動を回避していくか、というようなテーマについてグループで話し合いました。私のグループでの大まかな結論としては、「国内の安定を図ることがまずは重要で、そのためには経済発展が必要であり開発独裁もある程度やむを得ない」でした。私が学部時代米国に留学していた際に似たようなテーマでディスカッションしたことがありましたが、そこでは「(国が) 市民参加や人権をしっかりと保障していくことが最も重要である」というような結論に至りました。同じテーマについてでも、参加者のバックグラウンドにより想定する国の像や加味する要件、物事の考え方等が全く異なると身を以て実感した瞬間でした。

最後に、開催地が韓国とベルギーだったため、食事、人との出会い、街並み等、現地ではできない文化をたくさん体験できたのはとても興味深く、楽しかったです。例えば、開催地のルーバン(ベルギー)は、ビール業界で最大といわれるインベヴの本社があり、ベルギーにおけるビール醸造の中心です。町にはおしゃれなビアカフェが多く、また、自前でビールを醸造しているためそのお店でしか飲めないビールもありました。飲食店によっては水よりも安価で、何より種類が非常に豊富でした(あるバーでは1000種類ほどのベルギービールの銘柄がありました)。ベルギーの水が飲用に適さなかったため、中世の頃から水の代わりに飲料としてビールが発達したそうです。当時は、お酒というよりは麦茶のような感覚で(アルコール度数も非常に低い)普段の飲料として飲まれていたと聞きました。私自身あまりお酒は飲めませんが、伝統ある『食文化』を体験できた良い機会だったと思います。

このような学びが多く充実した体験をさせて頂き、本当に感謝しております。ありがとうございました。